

# 福島第一原発の 大事故を忘れたのか！

## 原発専門の会社「日本原子力発電（株）」 発電量ゼロなのに 8年間で約1兆円の収入

「日本原子力発電（株）」（以下日本原電と略します）は、東京電力など大手の電力会社が主に投資してつくられた原子力発電専門の会社です。4基ある原発のうち2基は、すでに廃炉が決定し、敦賀のもう1基は、活断層があると指摘され、再稼動できません。残る東海第二原発も、2011年の東日本大震災で被害を受け、停止したまま。すなわち、この8年間、日本原電は、全く発電をしていないのです。普通の会社なら、とっくにつぶれています。にもかかわらず、大手の電力会社5社は「基本料金」として日本原電に、8年間で、約1兆円を支払い、日本原電を支えてきました。このお金のもとは、利用者が払う電気料金です。

## 東海第二は、津波被害も受け 稼動からすでに40年経った老朽原発

この日本原電が、何としてもやろうとしているのが、東海第二原発（茨城県東海村）の再稼動です。日本で初めて100万キロワットを超えた大型の東海第二原発は、福島と同じ沸騰水型。稼動からすでに40年経っている老朽原発です。本来なら廃炉にすべきこの原発を、さらに20年稼動させようというのです。しかも、東日本大震災の時には津波被害を受け、「冷温停止」まで通常の2倍以上の3日半かかっています。30キロ圏内に住む住民は、90万人以上、東京駅まで116キロ、首都圏は150キロ圏内に入ります。まともな避難計画など立てようがなく。周囲の自治体の合意も得られていません。

さらに、再稼動のためには、これから安全対策工事をしなければなりません。規制基準で、2023年10月までに作ることを義務付けられた「テロ対策施設」を含めた工事費用は約3000億円かかると言われています。その費用も、東京電力を含む電力大手5社の出資が頼りです。再稼動できたとしても、発電コストは跳ね上がり、経済性すら二の次、になります。

全造船関東地協労働組合

【2019年7月11日】

一人でも誰でも入れる労働組合 よこはまシティユニオン

横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505 TEL&FAX 045-575-1948 ホームページ <http://yuniyoko.sakura.ne.jp>

# 東海第二原発の再稼働に絶対反対

## 巨大な自然災害には無力 安全性も経済性もない東海第二原発を廃炉に

原発は、たとえ安全対策工事を施したとしても、巨大な自然災害には無力です。しかも、老朽化し、津波のダメージも受けている東海第二原発の再稼働になぜこだわるのでしょうか。電気は足りているのに。日本原電へのこれまでの出資を無駄にしたくないからでしょうか。人の命や生活より資金の回収の方が大切なのでしょうか。私たちは、東海第二原発の再稼働に絶対反対です。多くの人々とともに声をあげ、東海第二原発を廃炉にしましょう。

### 東京電力に言いたいこと

東京電力は、事実上国有化され(税金がつぎ込まれているということ)、福島第一原発の廃炉や被災者の救済・補償に全力をあげなければいけないはず。被災者との補償交渉を決裂させたり、裁判で争ったりしている一方で、日本原電の基本料金を払い、安全対策費用の出資まで決め、東海第二原発の再稼働を後押ししようとしている。こんなことが許されるのでしょうか。「恥を知れ!」。

【組合員N】



#### ■故長尾さんの闘いを胸に

よこはまシティユニオンの組合員だった長尾光明さん(故人)は、福島第一原発で働き、被ばくが原因で退職後に多発性骨髄腫(血液のガン)を発症し、労災認定されました。損害賠償を求めて東京電力を相手に裁判を起しましたが、東電は、労災認定はおろか病名すら否定。裁判所も長尾さんの請求を棄却しました(最高裁2010年4月)。

#### ■原発で働く労働者と共に

原発は、電力会社を元請とした4〜8次の下請会社で稼働しています。3・11以降、多くの労働者が福島第一原発の収束作業に関わり、被ばくを余儀なくされています。東電福島第一原発の収束・廃炉作業や九電玄海原発の定期検査に従事し、被ばくが原因で白血病

になったあらかぶさん(40代男性)は、2016年11月22日に東京電力と九州電力を相手に損害賠償を求めて提訴。第13回口頭弁論が9月24日(火)午後1時30分から東京地裁で行われます。多くの皆さまのご支援をお願いします。

#### ■職場の問題

いつでもご相談を!

私たちは、3・11大震災や原発事故を忘れないため毎月11日に街頭宣伝活動を続けています。もう8年が過ぎました。これから、何ができるのかを一緒に考えたいと思います。

「福島どころじゃない」「自分の仕事と生活が大変」という方もいるでしょう。そんなあなたこそ、あきらめる前に一度ぜひ職場の問題をユニオンに寄せてください。一緒に解決しましょう!